



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 生化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4548 URL <http://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 関 広之

TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,897	△3.8	1,646	33.9	1,630	38.9	1,041	41.4
23年3月期第1四半期	7,171	△0.1	1,229	△23.8	1,173	△28.9	736	△28.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,156百万円 (109.8%) 23年3月期第1四半期 551百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	18.33	—
23年3月期第1四半期	12.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	63,397	56,553	89.2
23年3月期	62,684	56,106	89.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 56,553百万円 23年3月期 56,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,200	2.3	2,300	27.8	2,400	39.7	1,500	27.3	26.40
通期	28,000	3.3	4,800	35.9	5,100	22.6	3,300	34.6	58.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P.2「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	58,584,093 株	23年3月期	58,584,093 株
24年3月期1Q	1,776,590 株	23年3月期	1,776,565 株
24年3月期1Q	56,807,515 株	23年3月期1Q	56,807,685 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。また、予想には、算定可能な特別損失以外の震災の影響は織り込んでいません。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成23年7月29日より当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）の売上高は、前年同期と比べ3.8%減少し、68億9千7百万円となりました。これは、前年同期に国内アルツの出荷が高水準であった反動による減少を米国および中国向け販売数量増で補ったものの、円高の影響を受けたことや機能化学品が減少したことによるものです。

利益につきましては、高萩工場第4製剤棟の減価償却費等の原価減少などにより売上総利益が若干増加したことに加え、腰椎椎間板ヘルニア治療剤「SI-6603」関連の研究開発費が減少したことなどにより、営業利益は16億4千6百万円（前年同期比33.9%増）、経常利益は16億3千万円（同38.9%増）、四半期純利益は10億4千1百万円（同41.4%増）となりました。

セグメント別の売上概況

<医薬品>

・国内

関節機能改善剤アルツの国内市場は、高齢者人口が増加していることに加え、販売提携先の科研製薬株式会社とともに推進している変形性膝関節症の疾患啓発活動の効果により、引き続き拡大しました。アルツについては、先発品としてのブランド力を活用した拡販に注力したことで医療機関納入本数が増加し、市場シェアも拡大しました。しかしながら、当社の売上は、前年同期にプラスチック容器の新規投入により、販売提携先向けの出荷が高水準であったことから減少しました。

眼科手術補助剤オベガンは、販売提携先の参天製薬株式会社と連携して、引き続きターゲットを絞った販売促進活動に努めました。医療機関納入本数は、震災の影響による白内障手術件数の減少や競合激化により減少しましたが、販売提携先の在庫調整があり、当社の売上は増加しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、販売提携先のジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社とともに、内視鏡手術の手技を浸透させる啓発活動に注力したこともあり、売上を伸ばしました。

・海外

米国向けスパルツの現地販売は、一部民間保険会社の償還厳格化の影響が一巡したことや、比較的価格が高値のスペシャリティーフーマシー（医薬品卸会社）経由の販売増加により、前年同期と比べ減少幅が縮小しました。当社からの輸出売上は円高の影響を受けたものの、販売提携先の現地在庫積み増しなどにより増収となりました。また、中国向けは、主要都市を中心とした医療機関で高い品質や世界的な使用実績が評価されており、引き続き売上を伸ばしました。

これらの結果、医薬品の売上高は55億8千7百万円（同1.0%減）となりました。

<機能化学品>

海外での品質管理向けエンドトキシン測定試薬などが堅調に推移したものの、円高の影響に加え、ヒアルロン酸原体の出荷時期ずれや、前年同期に行った体外診断用医薬品事業譲渡の影響があり、機能化学品の売上高は13億9百万円（同14.3%減）となりました。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び国内連結子会社は、税金費用について当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,746	6,135
受取手形及び売掛金	7,458	7,718
有価証券	6,214	8,883
商品及び製品	2,486	2,637
仕掛品	781	800
原材料及び貯蔵品	859	752
繰延税金資産	679	683
その他	1,488	894
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	26,714	28,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,857	13,876
減価償却累計額	△8,604	△8,700
建物及び構築物（純額）	5,253	5,175
機械装置及び運搬具	10,470	10,547
減価償却累計額	△8,148	△8,379
機械装置及び運搬具（純額）	2,322	2,168
土地	801	802
リース資産	1,436	1,449
減価償却累計額	△638	△693
リース資産（純額）	798	756
建設仮勘定	576	880
その他	2,549	2,616
減価償却累計額	△2,008	△2,075
その他（純額）	540	541
有形固定資産合計	10,292	10,324
無形固定資産		
その他	330	313
無形固定資産合計	330	313
投資その他の資産		
投資有価証券	23,391	22,327
長期貸付金	240	240
繰延税金資産	130	132
その他	1,849	1,819
貸倒引当金	△264	△264
投資その他の資産合計	25,346	24,255
固定資産合計	35,969	34,893
資産合計	62,684	63,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	977	949
リース債務	210	203
未払法人税等	448	562
賞与引当金	629	314
災害損失引当金	343	323
その他	2,163	2,696
流動負債合計	4,773	5,051
固定負債		
長期借入金	700	700
リース債務	573	534
繰延税金負債	349	376
資産除去債務	83	84
その他	96	96
固定負債合計	1,803	1,792
負債合計	6,577	6,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	49,154	49,485
自己株式	△2,077	△2,077
株主資本合計	56,219	56,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	669	706
為替換算調整勘定	△781	△702
その他の包括利益累計額合計	△112	3
純資産合計	56,106	56,553
負債純資産合計	62,684	63,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,171	6,897
売上原価	2,791	2,452
売上総利益	4,380	4,445
販売費及び一般管理費		
販売手数料	525	482
人件費	415	423
賞与引当金繰入額	95	93
退職給付費用	16	24
研究開発費	1,495	1,206
その他	603	568
販売費及び一般管理費合計	3,150	2,798
営業利益	1,229	1,646
営業外収益		
受取利息	54	55
受取配当金	69	86
その他	16	9
営業外収益合計	140	150
営業外費用		
支払利息	12	10
為替差損	176	69
投資有価証券評価損	—	50
固定資産除却損	2	8
その他	4	27
営業外費用合計	196	167
経常利益	1,173	1,630
特別損失		
災害による損失	—	71
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51	—
特別損失合計	51	71
税金等調整前四半期純利益	1,122	1,558
法人税、住民税及び事業税	386	516
法人税等調整額	△0	1
法人税等合計	385	517
少数株主損益調整前四半期純利益	736	1,041
四半期純利益	736	1,041

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	736	1,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234	36
為替換算調整勘定	49	78
その他の包括利益合計	△184	115
四半期包括利益	551	1,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551	1,156
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	機能化学品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,642	1,528	7,171	—	7,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	19	19	△19	—
計	5,642	1,547	7,190	△19	7,171
セグメント利益	826	403	1,229	—	1,229

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	機能化学品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,587	1,309	6,897	—	6,897
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	20	20	△20	—
計	5,587	1,330	6,918	△20	6,897
セグメント利益	1,293	352	1,646	—	1,646

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。